

Council of Road Construction Worker's Unions(C.R.U)

道路建設産業労働組合協議会

〒104-8380

東京都中央区京橋1-19-11 (日本舗道労働組合内)

電話03 (3562) 5857

定期大会報告



道建労協第15回定期大会

7月25日に東京都荒川区のホテルラングウッドにおいて第15回定期大会が開催された。当日は役員、代議員87名が参集した。

大会議長に伊藤園美代議員(日本舗道労組)、大会副議長に谷崎 智代

議員(東京舗装労組)が選出され、丸山祐二議長より「単組に役立つ身近な組合活動を目指して活動してきた。活発な討議を期待する。」との挨拶の後、議事に入った。

まず、99年度の活動と決算の報告が審議され満場一致で承認された。

引き続き2000年度の運動方針案、予算案が審議され、質疑の後に満場一致で承認された。

運動方針に対する質問は「『道建労協のめざすもの』にある現状組織の問題点とは具体的にどのようなものか。」との質問に対し、「建設産業は公共事業の見直しや縮減が叫ばれ、先行きが極めて不安定かつ不透明であり、更に雇用確保を始めとする労働条件の問題がある。押し寄せる大きなうねりに対応する組織が必要とされている。道建労協は労働環境の改善を図るべく、現組織にこだわらない組織の再編を踏まえた前向きな検討をする。」との回答があった。



丸山議長

氏(在任期間2年)が退任された。

役員改選の後、新任役員を代表して丸山議長が挨拶を行った。更にご臨席いただいた来賓の日本建設産業職員労働組合協議会の木下達事務局長、建設連合上土井 敦副中央執行委員長から当協議会に力強い励ましと共に、今後の活動に期待を寄せる祝辞を頂いた。

これにより道建労協は新年度に向け決意を新たに、力強い一歩を踏み出した。

予算案には「収支のバランスをどのように考えるのか」との質問があり、執行部より、「あくまで活動に必要な支出案であるが、収入に見合うことも大事」との回答があった。

役員改選では、新たに佐藤宗吾副議長(大成ロテック社組)を加えた14名が承認され新執行部が発足した。

なお、今大会をもって副議長の森平大志



退任役員 森平氏

2000年度の取り組み

道路建設産業の経営環境の改善のため、労働組合の立場から最善の努力を尽くすとともに同じ産業において働く者の社会的・経済的地位向上をはかり、働きがいのある生き生きとした労働環境へと変えていく。

I. 基本的な取り組み

(1) 労働条件の維持向上

賃金、労働条件、福利厚生等の総合的な労働条件の維持向上に加え、一向に改善しない労働環境の改善に向けては、柔軟な発想を取り入れた運動を展開していく。

(2) 組織の充実と拡大

昨年から開催された建設産労懇の総会を充実させると同時に建設産労懇の各種活動の中で産業政策の具体的な提言をする。また、建設産業に近い将来訪れるであろう大変革を想定しての建設産労懇のあり方を検討し、組織の再編を踏まえた積極的な提言を行う。設立10周年を迎えた「地方協議会」と本部で共通テーマをもとに協議、交流を図る。

(3) 産業政策活動

道路建設産業が抱える諸問題を同じ立場の建設産労懇メンバーとともに方向性を明確にし、意見交換、情報交換を積極的に行う。更に、土曜休日取得については、これまでの訪問先に加え、道建労協加盟単組企業の支社や関係団体支部を訪問し協力を呼びかけていく。関係団体、関係省庁、マスコミ等とも定期的な交流を行い政策活動の充実と努める。

(4) 広報・調査活動の充実

道建労協が取り組んでいる活動の推進、理解促進にむけ、広報・調査活動をさらに充実。

調査活動は単組での活用はもとより、対外に向けてもアピールできるよう集計・分析を行う。機関紙「PAVE」は、年4回の定期的な発行と親近感を加味した内容の充実を図る。

II. 個別運動方針

1. 組織・対外活動

(1) 組織活動

- ① 組織の検討…組織の再編成の検討
- ② 地方協議会…本部との共通テーマによる共同歩調
- ③ 組織の拡大
 - ・未組織、未加盟企業へのアプローチ
 - ・共同企業体を利用したオルグ活動

(2) 対外活動

- ① 関係官庁への活動
- ② 関係団体との交流(地域要請活動)
- ③ 友好組織との連携
- ④ 産業別労使懇談会

2. 教宣活動

- (1) 機関紙の充実(年4回定期発行)
- (2) 時短、春闘ポスターの作成
- (3) 単組役員研修会
- (4) 労使セミナーの充実

3. 調査・制度対策

- (1) 年次調査時報の見直し
- (2) 賃金・制度対策
- (3) 労働時間対策
- (4) 安全衛生対策

「木を見て森を見ず」
今、各単組の組合員の皆さんが日々苦勞をして行っている。Oの一般的見方について話したいと思います。

「ISO9000は品質システムに対する要求がある」ことを頭にに入れておくことが大切である。ISO9001では3項目(実施が義務付けられている項目)が138あるが、この要求項目には適合状態であること(木が立派に育っている)と効果が上がっていること、あるいは改善が進んでいること(森が育っている)が往々にして異なっている。審査の中で、今までほとんど不適合のない企業が時々ある。中身をみると、確かにISO9000の要求事項には合致していることが確認できるが、全体のつながりが感じられない場合が多々ある。具体的には、(4.1の経営者の責任)の審査で品質目標を見ると未達成の項目が多いが、各項目の審査に移ると意外と不適合がなかったりする。このような企業はあまりOを活用されていないわけで、一つ一つの要求には適合しているも「品質システムの効果的な実行」にはなっていない。

欧州では、昨年このOの認証を返上した企業が約4000社ありました。この大半の企業は「まわりが取得するからうちも」と中途半端に認証を取得した企業でした。このようなことが「木を見て森を見ず」である。

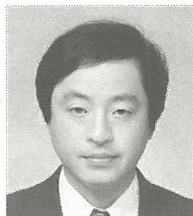
(フジタ道路職員組合 岩田)

新年度役員紹介

7月30日開催の第15回定期大会で下記の方々が新役員となりました。



議長
丸山 祐二
(日本舗道労働組合)



副議長
工川 靖
(東亜道路労働組合)



副議長
佐藤 宗吾
(大成ロテック社員組合)



副議長
黒沢 武典
(大林道路職員組合)



事務局長
長野 滋
(前田道路労働組合)



中央執行委員
桐生 伸治
(全大有労働組合)



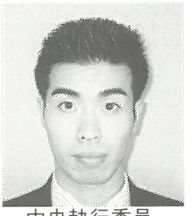
中央執行委員
澄川 武
(三井道路労働組合)



中央執行委員
曾根崎 義治
(不動産建設労働組合)



中央執行委員
岩田 孝
(フジタ道路職員組合)



中央執行委員
小林 由幸
(東京舗装工業社員労働組合)



中央執行委員
谷井 貞夫
(日本舗道労働組合)



会計監事
森野 久美子
(東亜道路労働組合)



会計監事
藤田 恵子
(大成ロテック社員組合)

地協定期大会開催と新議長抱負 (中部・関東・関西共に新議長就任)

中部地協第11回定期大会



9/12開催 新井議長

中部地協の第11回定期大会が9月12日、名古屋のサイプレスガーデンホテルで開催されました。前日はあの東海豪雨の日で、名古屋周辺が至る所で冠水したため公共の交通機関が終日麻痺し、来賓の丸山議長も昼過ぎ始発の新幹線で定刻にやっと間に合うといった状態ながら、事務局のおかげで無事大会は始まりました。

大会議長には、前田道路労働組合の菊池代議員が、大会書記には全大有労働組合の芝田代議員が選出され、活発な討議のなか、第11期経過報告、第12期活動方針案、第12期予算案等の議案全て満場一致で可決されました。

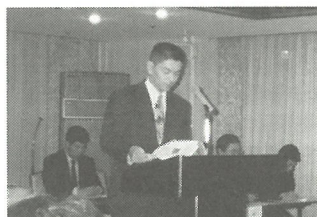
今後の中部地協の活動予定については、

①組織の活性化を図るため、役員による幹事会の開催を1回/2ヶ月実施し、本部や各単組の情報を提供していきます。また、この中部地区で最も身近に活動している建設連合愛知県連合会との連絡を密にし合同幹事会や合同セミナーなどの開催を働きかけていきます。

②部会活動の充実を図るため、レク部会では定着している活動(ボウリング大会、ソフトバレーボール大会、クリスマスパーティー、潮干狩り)の計画・実施をします。教宣部会ではこれからの厳しい社会状況を勘案し、資格・教育に関するセミナーを開催します。広報部会では道建労協が取り組んでいる活動の推進、理解促進に向け機関誌「さんば道」の年2回の発行を継続します。

中部地協議長 新井 薫 (日本舗道労働組合)

関東地協第11回定期大会



9/29開催 内村議長

去る2000年9月29日(金)18:30より東京・乃木坂のはーいん乃木坂にて加盟各単組の代議員28名参加の上、関東地協の第11回定期総会が開催されました。当日は、99年度の幹事より活動経過報告など5議案が提出され、審議の上、全て承認されました。これもこれまで行ってきた、関東地協の活動が10年という一定の期間に達したことで組合員の中に着実に浸透しつつあることの証ではないかと思っています。今後もこの流れを大事に組合員の意見を幅広く集めていきたいと思っています。

昨年度の活動内容として主となってきたのは、ソフトボールやボーリング大会、家族向けバーベキューなどのレク活動です。こういった行事を、毎年継続的に開催することで、一般組合員により身近な組織として認識されつつあります。総会や会議、通知等ではどうしても堅いイメージとなってしまっていますが、レク活動を通することで、組合員間での参加意識を高めていくことができます。又、複数の単組で行うことで、社外の人との交流が生まれ、改めて社内の結束ができたりと、道建労協ならではの強みを今後もいかしていきたいと思っています。

又99年度はひさびさに意見交換会を開くことができました。各単組とも賃金交渉等を目的としてしっかりと組合が組織されていますが、こと社外との交流に、そうそうでは実態であることが分かりました。ここでも関東地協として横のつながりの場を提供することで大きな役割が果たせるのではないかと、と思っています。

今年度は活動方針としてスローガンを「新たな世紀の扉を開ける年である」とさせて頂きました。スローガンの内容に違わぬよう活発で組合員の声を反映した組織を目指してまいりますので、今後ともご協力の方よろしく願いたします。

関東地協議長 内村哲弘 (大林道路職員組合)

関西地協第11回定期総会



9/29開催 中央が山川議長

1986年に道建労協が設立して以来15年、関西地協においても今年で11年目を迎えております。その間、いろいろなことがありました。湾岸戦争・阪神大震災やオウム事件、また政治の世界でも細川連立政権や村山内閣の発足、新たな政党の相次ぐ旗揚げなど、日本の経済や政治が大きく変化した時期でした。

平成のバブル景気のまっただ中に発足した関西地協では、各単組とも右肩上がりの業績を上げ、今では考えられないようなベースアップを獲得してきました。年俸は他の業界と肩を並べる水準にまで達し、週休2日制の導入もほぼ100%実現する事が出来ました。建設業界全般においても大きく変化のあった時期でした。私たちは、様々な要求を提示し、ベースアップだけでなく、まちがいなく労働条件は大きく改善されたと思います。しかし、バブルの崩壊後、労働条件は後退を余儀なくされ、公共事業費の削減・設備投資の減少・個人消費の低迷など、この経済の悪循環により、建設業界は大きなダメージを受け、私たちの道路業界も業績が落ち込み、賃金面においても、きびしい状況となりました。

このような時代背景を、ある東洋の哲学者は、「他者との差異へのこだわりが強く、連帯を分断しようとする考え方が時代の底流にある。」と指摘し、「今こそ他者との差異を認めつつも、それを乗り越えて統合への歩みを進めるべきだ」と語っていました。

歴史や生き立ち、規模の違う10単組の集まりである道建労協関西地協においても、互いの差異を認め合いながら、団結してゆくことが重要だと考えます。各単組だけでは解決できなかった問題も、差異があるからこそ解決の糸口が見えてくることもあるのではないのでしょうか。

関西地協としても、さらなる労働条件の改善を目指してゆく基本姿勢は変わらないものの、各単組間のつながりを強化してゆくことに力点を置いた活動を展開してゆきたいと考えます。今まで以上に横のつながりを強くして、それぞれの単組が抱える諸問題を、みんなで話し合い分かり合える関係を構築してゆくことが重要だと思います。

そのためにも、今年度は、ボーリング大会やソフトボール大会などのレクリエーションの開催だけでなく、皆様の関心の強い社会問題等の講演会なども企画したいと考えております。役員一同精一杯頑張りますので、皆様のさらなる御協力・御支援のほど、どうぞよろしく願いたします。

関西地協議長 山川 亮 (大林道路職員組合)

北海道地協議長 翁 信次（三井道路労働組合）

北海道労働組合

平舗道労働組合

鋪装工業社会労働組合

工道路労働組合

ロテック

北海道職員組合

労建道
北海道的労働者

川端氏は自分のこれまでの経験から「スボットでも勉強が何より大事だ」と話して、自分が「スボット」で勉強が努力、練習できたことが最後のの踏ん張りになる。自分は精いっぱいやったんだという自信が強くなる」と話した。また「一瞬、精神状態をつくつていたのは、周りとのコミュニケーションも重要。その表現があれば、いちばん良い関係を保てるかを、お互いに考えなければならぬ。それには、さき話をすることが

川端康成は、目の選手時とその後の経歴と現病の二つの「自己」の経験とを交えるが、「メダルの面」については色々々あるまでも、感情的には自分がかねた目標に向かいながら努力してきたのか。その積み重ねた努力ならぬではないかと考える。「一筋縄ではいかない」とその積み重ねたことを述べている。「長十郎の間を駆けお互いの雲々の裏まで戻ること」そして「丸などなくとも懸向かうことがいかなる状況でも大成功とした」。参加者は、経験に基づいた話術で熱心心を語り続けていた。

道路建設労組協・創設10周年記念
川端絵美さん迎え講習会
メンタルヘルスセミナー

A black and white photograph of a baseball game in progress on a large field. Several players are visible, including a batter and a catcher. The background shows a line of trees and a tall utility tower under a cloudy sky.

物知りクイズ「オリンピック特集」

世界中の人々を大きな感動で包んだ、シドニーオリンピック今回はあの感動を特集クイズにしました。

- Q1 銀メダルでメチャ悔しい！と、表彰台でつまづいた女子400メートル個人メドレーの選手は？
①中村真衣 ②萩原智子 ③田島寧子
- Q2 メダルの獲得数の1位はアメリカの97個です。日本は女性の活躍が目立ちました。日本の獲得数は銅5個、銀8個、さて金は何個？
- Q3 わずかの差で日本シンクロチームから金を奪ったチームは？
①カナダ ②ロシア ③フランス
- Q4 決勝トーナメントに進出した日本男子サッカーは残念ながらPK戦でアメリカに敗れました。PK戦で最初にキックした日本の選手は？
①中田英寿 ②中村俊輔 ③高原直泰
- Q5 金メダルに輝いた女子マラソンの高橋尚子選手！楽しかったと笑顔でゴールインして高橋選手の付けていたゼッケンNOは？
2〇〇8番です。
ヒント(〇は巨人の長島監督(以前)、江藤選手)
- Q6 スタンドで開催国の選手へ大声援！おじいさんの愛称ではない。オーストラリアの国の愛称は？ ヒント(〇ー〇ービーフ)
- Q7 次の2年後のオリンピックはどこで開催されか？
①ギリシャ ②アメリカ ③日本

物知りクイズ当選者発表

前回のクロスワードパズル(第49号PAVE)の当選者が決定いたしました。64名の多数の応募があり、抽選により以下の15名の方々が当選となりました。当選された方には粗品をお送りいたします。ご応募ありがとうございました。

前回の答え コウキアツ

当選者(敬称は省略させていただきます)

上池 史子	(大林道路職員組合)
西川 章司	(全大有労働組合)
大塚 尚美	(全大有労働組合)
栗原 優二	(大成ロテック社員組合)
鱈淵 誠	(東亜道路労働組合)
谷本 仁美	(東亜道路労働組合)
中村 寛	(東亜道路労働組合)
高橋 栄司	(東京舗装工業社員労働組合)
南 幸彦	(日本舗道労働組合)
藤田 京子	(日本舗道労働組合)
平川 節司	(日本舗道労働組合)
近藤 美佳	(日本舗道労働組合)
小橋 弘美	(前田道路労働組合)
小林 洋子	(前田道路労働組合)
福田 智子	(三井道路労働組合)

これからも物知りクイズをよろしく願いいたします。

〈応募方法〉下記を明記してお送りください。正解者の中から抽選で粗品をお送りします。たくさんのご応募をお待ちしております。

- 回答
 - 賞品送り先住所・氏名および所属単組名
 - 締め切り 11/30
 - 今月の紙面で良かった点、気づいた点がありましたらご意見も是非お寄せください。
 - 宛先 〒104-8380 東京都中央区京橋1-19-11 日本舗道労働組合内
道路建設産業労働組合協議会『PAVE』宛 FAX 03-3535-4810
- ※発表は次号(1月発行予定)

単組委員長登場！

今回より、単組委員長登場！のコーナーを設けました。日頃自分の単組の委員長の顔も知らなければ、人物像も知らないといった人も多いでしょう。また、他の単組の委員長はどんな人だろうと興味を持たれている方もいらっしゃると思います。

このコーナーでは、委員長を知る身近な立場から、仕事、プライベートを問わず、その人物のありのままの姿を紹介します。

第1回目の記念すべき登場者は、大成ロテック社員組合 山下 宏委員長です。



大成ロテック社員組合 山下 委員長

山下委員長の紹介

山下委員長は、バリバリの現場マンです。昭和57年に入社以来、多種多様な工事を任せられ、実績を重ねてきました。現在は防衛庁、厚木の誘導路整備工事の現場代理人の傍ら、組合本部執行委員長の任にあります。当然の事ながら本業は前者の方ですが、組合も決しておろそかにすることなく、昨年度就任以来、委員会等には皆勤。その上、道建労協や大成グループの会合への参加、あるいは部会訪問の為地方に出張もこなしています。

バリバリの現場マンは、責任感が強く、仕事の為なら休日返上もおかまいなしです。

彼もバリバリの現場マンですが、しかしその反面、部下の休日確保にはこまやかな気配りが定評のあるところ。どの会社も厳しい経営環境にあるので、現場第一線では労働強化が進んでいる事と思いますが、その中で上に立つ者に大切なのは厳しさと優しさのバランスです。それを持っているのが我が委員長です。

欠点は、飲んでる時に現場の話ばかりしている事です。今はコンクリート舗装の現場なので、コンクリートを食べて生きているのではないかと思うぐらいの勢いで、目を輝かせながら話します。彼が組合活動についてもそのテンションで語り始める日は近い！

今期は今までになく厳しい年ですが、明るく元気よく頑張っていきましょう。

(紹介者 大成ロテック社員組合 書記長 清水尚弘)

編集後記

今期に入り第1回目のPAVE発行！今期も前期同様、年4回の発行を予定しています。道建労協の活動内容報告、各単組紹介、人物紹介等々、色々な視点から紙面づくりを検討して行きたいと考えております。又、PAVEを通して皆様方との有益な情報交換を行うことにより、私達をとりまく労働環境の改善に役立つヒントが得られるという思いもあります。労働組合に求められる内容も多種多様なものになっている中で、皆様からのご意見、ご希望がありましたら是非お寄せください。

(大成ロテック社員組合・佐藤)